

貝殻ポーラスコンクリートの 「応用」



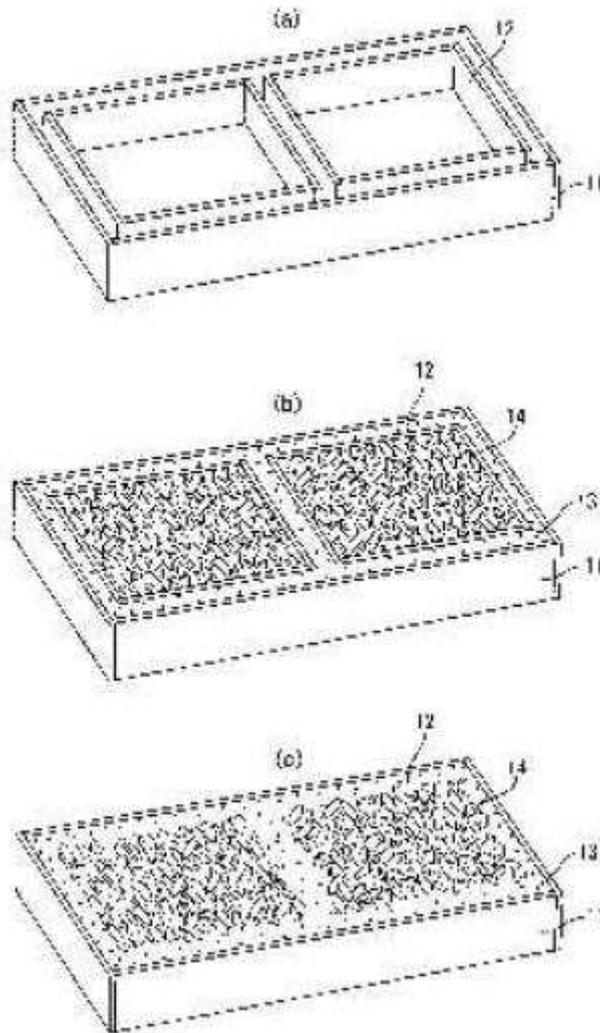
nakamura-pc

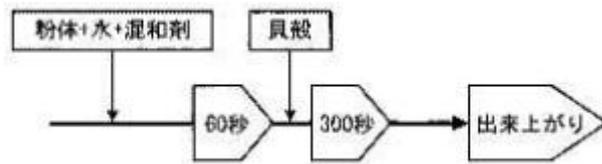
ポーラスコンクリートの目的は適宜な空隙率を確保しつつ、所定の強度を保つことにある。貝殻を利用することにより、約60%の空隙率を擁しながら構造物としての所定の強度を得る1つの工程を作った。

1. 貝殻ポーラス

【目的】 多量に廃棄されている貝殻を有効利用して、大きな連続空隙を有し、植生に適し、多くの小動物の増殖に好適な環境を作り出すことができる、ポーラスコンクリート成形体を提供すること、混練に際し一般に広く用いられる重力式のみキサーを用いてポーラスコンクリート成形体を製造することを目的とする。

【構成】 セメントや石膏からなる水硬性粉体に水を主体とする液体を加え、重力式みキサーを用いて混練を行なってモルタルを形成し、このモルタルに貝殻を加えてさらに混練を行なって得られた生配合物を所要形状の型枠内に投入して養生を行なって硬化させることを特徴とする。





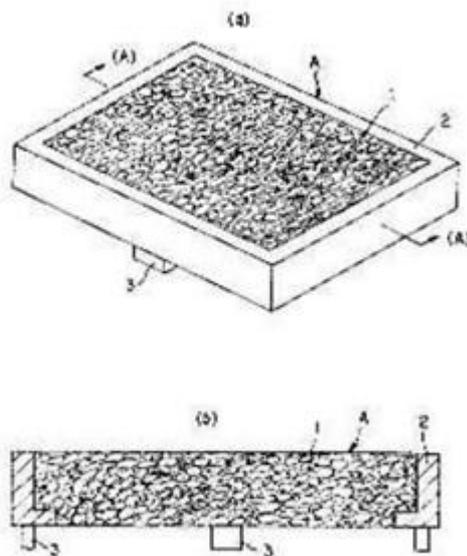
【選択図】 [図2](#)

2. 護岸用ポーラス

【要約】

【課題】 十分な護岸強度が得られるとともに、空隙率が高く、植物の生育に良好な植生基盤を提供でき、自然生態系を保全し河川景観を向上することのできるプレキャストタイプの護岸用ポーラスコンクリートブロックの実現を課題とする。

【解決手段】 普通コンクリートで形成された普通コンクリート体2からなる枠体部と、この枠体部と一体に形成された貝殻ポーラスコンクリート成形体1とを具備することを特徴とする。



【選択図】

